



生産者に説明をする野呂主幹（左）

生産者に説明をする野呂主幹（左）

石川ぶどう部会と尾上ぶどう部会は6月4日、J Aぶどう生産販売対策協議会主催の栽培講習会に生産者15人が参加し、今後の栽培管理について学んだ。

県中南農政局地域農林水産部の野呂賢一主幹が講師を務め、「スチューベン」と「シャインマスカット」の生産状況と開花前後の栽培管理について説明。「生育は平年より早く、スチューベンの開花予測日は6月12日、シャインマスカットは19日。どちらも、花穂に養分が流れるように1回目の摘心は開花約1週間前から速やかに行う」と説明。また、病害虫の発生時期や薬剤散布について説明し、防除を徹底して行うよう呼びかけた。

適正管理で高品質ぶどう栽培

～JAぶどう生産販売対策協議会 栽培講習会～

石川ぶどう部会と尾上ぶどう部会は6月4日、J Aぶどう生産販売対策協議会主催の栽培講習会に生産者15人が参加し、今後の栽培管理について学んだ。

県中南農政局地域農林水産部の野呂賢一主幹が講師を務め、「スチューベン」と「シャインマスカット」の生産状況と開花前後の栽培管理について説明。「生育は平年より

市場へトマト販売の要請

～尾上トマト部会が市場へ販売要請～

尾上トマト部会の山口知治部会長らは5月30日と31日、トマト生産者の手取り額確保のため浦和中央青果市場と東京多摩青果を訪問し、高単価取引などの販売要請を行った。

市場は「J A津軽みらいのトマトは消費者からの評価が高い。ブランドとして更にアピールしていくためにも、出荷量を増やしてほしい」と話した。

部会では、選別基準を徹底し、市場や消費者に求められるトマトの生産を行う。



市場へ販売要請をした部会

地元高校生が地域のりんご栽培について学ぶ

～柏木農業高等学校りんご栽培講習会～

平賀基幹グリーンセンターは6月3日、青森県立柏木農業高等学校でりんごの栽培講習会を行った。同校生活科学科の3年生25人が出席。りんごの栽培などについてより深い知識を得ることを目的としている。

同センターの平田敏行営農指導係長と営農課の三浦正幹営農指導係長が講師を務め、平川市のりんご栽培の現状や特徴、年間を通じた摘葉、摘果作業などについて説明した。生徒らはりんごの栽培について真剣に学び、わからないことは積極的に質問をしていた。

同校では今後、地域の小学生を対象とした体験学習を予定しており、講習会に出席した生徒は「講習会で学んだことを生かし、小学生との作業学習を行いたい」と意気込みを話した。



りんご栽培について学ぶ生徒